

◎ 釧路同盟通信社第二十四回理事會議事錄

昭和十七年六月二十七日午前十時三十分開會、同午後零時十分閉會
會 場 東京市麴町區內幸町一丁目一番地 帝國ホテル

理事總員 參拾七名

出席理事 貳拾四名

野中楠吉	阿部良夫	一力次郎
伊豆富人	林政武	小柳調平
小汀利得	田中秋聲	田中齊
高石眞五郎	高田元三郎	山田金次郎
山本實一	小坂武雄	阿部暢太郎

社 團
法 人
同 盟 通 信 社

北野吉内	清水順治	宮崎光男
關正雄	杉山榮	古野伊之助
畠山敏行	上田碩三	堀義貴
福田恭助(監事)	古賀傳吉(常務監事)	

委任狀 八 名

井上廣居	荻野元太郎	河村徹
小森七郎	御手洗辰雄	後川晴之助
森一兵	末光鐵之助	

議長 理事(副會長) 野中楠吉

會議經過

野中理事（副會長）ハ任期滿了ニ付出席理事一同ノ同意ヲ得テ議長席ニ着キ開會ヲ宣シ先ヅ新理事小汀利得（中外商業新報社）、北野吉内（朝日新聞大阪本社）兩氏ヲ紹介シタル後議事ニ入ル
一、昭和十六年度決算ノ件

古野社長ヨリ別紙昭和十六年度收支計算書並ニ貸借對照表ニ付其ノ内容ヲ説明シ、採決ノ結果滿場一致本決算案ヲ可決シタリ

二、定款及細則改正ノ件

古野社長ヨリ改正ノ趣旨並ニ改正事項ニ付説明ノ後、野中議長ヨリ本件ハ特別委員ヲ舉ゲテ審議シタキ旨ヲ諮リタル處之ニ對シ小坂、伊豆兩理事ヨリ其ノ必要ナシトノ發言アリ、依テ議長ハ之ヲ議場ニ諮リ一同異議ナク本改正案ヲ可決ス

社團
法人

同盟通信社

三、理事會長一名選舉並ニ同副會長野中楠吉同阿部良夫兩氏任期滿了ニ付改選ノ件

四、定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事上田碩三、同光永眞三兩氏任期滿了ニ付之ガ改選並ニ常務理事一名決定ノ件

野中議長ヨリ右二件ハ特別委員ヲ舉ゲテ詮衡シタキ旨又特別委員ハ後刻決定スル旨ヲ述べ一同之ヲ承認、次デ

五、第九回通常社員總會附議事項ノ件

（一）定款改正ノ件

（二）定款第二十一條第一項第二號ニヨル理事全員並ニ同第二十七條ニヨル監事福田恭助氏任期滿了ニ付改選ノ件

（三）報告事項

（イ）昭和十六年度事業及決算報告ノ件

（ロ）昭和十七年度豫算報告ノ件

(ハ) 細則改正報告ノ件

(ニ) 諸般ノ報告

古野社長ヨリ以上附議事項ニツキ説明ノ要旨ヲ諮リ可決シタリ

六 諸般ノ報告

(イ) 社員新聞社異動ノ件

第二十三回理事會報告後、新加盟社十社、合併又ハ廢刊ニヨル退社二十七社ニシテ本年六月二十日現在社員總數百十八社ナリ

(ロ) 役員異動ノ件

定款第二十一條第一項第一號ニ依ル理事田中都吉氏(中外商業新報社)二月十日附辭任、後任理事トシテ小汀利得氏(同社編輯局長)就任又同理事美土路昌一(朝日新聞東京

社
團
法
人
同 盟 通 信 社

本社)及原田諱二(同大阪本社)兩氏四月十日附辭任、後任理事トシテ前者ハ野村秀雄氏(同東京本社編輯局長)後者ハ北野吉内氏(同大阪本社編輯局長)夫々就任

定款第二十七條ニ依ル常務監事古賀傳吉氏(日本放送協會)昭和十七年二月二十三日任期滿了ノ處同二十四日日本放送協會ヨリ同氏ヲ再推薦アリ同日監事福田恭助氏ノ同意ヲ得テ常務監事ニ重任

定款第二十一條第一項第二號ニヨル理事藤安新之助氏(舊鹿兒島朝日新聞社)二月十日附辭任

(ハ) 社長、常務理事他職兼務ノ件

古野社長ハ先般創立ノ日本新聞會常任評議員ニ、畠山常務理事ハ同會監事ニ夫々就任、又古野社長ハ從來日本電報通信社取締役ノ處今般辭任、後任同取締役トシテ畠山常務理

事就任

(二) 職制改正ノ件

(一) 華文放送開始ニ伴ヒ通信局ニ華文部ヲ新設五月一日ヨリ實施セリ

(二) 通信機器ノ研究、設計製作、修理及供給ノ促進ヲ圖ル爲メ技術研究所ヲ新設、五月一日ヨリ實施ス

(三) 札幌及臺北兩支局ハ時局下南北地區ノ重要性ニ鑑ミ六月一日ヨリ夫々支社ニ昇格、整備擴充スルコトナレリ

(ホ) 支局新設ノ件

(一) 國內通信網ノ擴充、同報無線電信設備増設ニ依リ左記支局ヲ新設セリ

社 團
法 人

同 盟 通 信 社

靜岡支局（昭和十七年三月開設）

室蘭支局（同上）

山形支局（同 六月開設）

津支局（同上）

(二) 海外通信網擴充ノタメ左記支局ヲ新設ス
ラングーン支局（昭和十七年五月開設）

以上各項ニツキ古野社長ヨリ詳細報告シ出席理事一同之ヲ諒承ス
尙社員總會ニ於イテ定款改正ノ上ハ現下ノ時局ニ鑑ミ役員ガ翼贊
政治會ニ參加協力スル件ニツキ豫メ諒解ヲ求メ理事會ノ承認ヲ得
タリ

次デ野中議長ハ以上ヲ以テ議事ヲ終了セル旨ヲ告グ、コノ時田中
（齊）理事ヨリ緊急動議トシテ

一、田中前理事會長ニ對スル感謝決議並ニ慰勞金贈呈ノ件
ヲ提議シ出席理事一同之ニ贊成シタルヲ以テ野中議長ハ本件モ前
記第三、四號議題ノ特別委員ニ附託スベキ旨ヲ述べ議場ノ同意ヲ
得テ二期引續キ在任ノ左記理事ヲ特別委員ニ指名ス

- | | | | | | | | |
|----|----|----|---|----|----|----|----|
| 山 | 高 | 阿 | 田 | 野 | 林 | 山 | 一 |
| 本 | 石 | 部 | 中 | 中 | 田 | 田 | 力 |
| 實 | 眞 | 暢 | | 楠 | 政 | 金 | 次 |
| 一 | 五 | 太 | | 吉 | 武 | 次 | 郎 |
| (中 | 郎 | 郎 | | (高 | (北 | (東 | (河 |
| 國 | (大 | (福 | | 知 | 國 | 奧 | 北 |
| 新 | 阪 | 岡 | | 新 | 新 | 日 | 新 |
| 聞 | 毎 | 日 | | 聞 | 聞 | 報 | 報 |
| 社 | 日 | 日 | | 社 | 社 | 社 | 社 |
|) | 新 | 新 | |) |) |) |) |
| | 聞 | 聞 | | | | | |
| | 社 | 社 | | | | | |

法人 同盟通信社

小坂武雄(信濃毎日新聞社)
清水順治(日本放送協會)
古野伊之助(社長)
畠山敏行(常務理事)
依テ議長ハ暫時休憩ヲ宣スルト共ニ直チニ別室ニ於イテ特別委員
評議ノ後再開

- △定款第二十三條ノ二ニ依ル理事會長、同副會長
- | | | | |
|---|----|----|----|
| 理 | 同 | 同 | 同 |
| 事 | 副 | 副 | 副 |
| 會 | 會 | 會 | 會 |
| 長 | 長 | 長 | 長 |
| | 阿 | 山 | 山 |
| | 部 | 田 | 田 |
| | 暢 | 金 | 金 |
| | 太 | 次 | 次 |
| | 郎 | 郎 | 郎 |
| | (福 | (東 | (東 |
| | 岡 | 奧 | 奧 |
| | 日 | 日 | 日 |
| | 新 | 報 | 報 |
| | 聞 | 社 | 社 |
| | 社 |) |) |
- △定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事
- | | |
|---|----|
| 理 | 同 |
| 事 | 同 |
| 會 | 同 |
| 長 | 同 |
| | 光 |
| | 永 |
| | 眞 |
| | 三 |
| | (重 |
| | 任) |

△定款第二十八條ニ依ル常務理事

常務理事 上 田 碩 三（重任）

△田中前理事長ニ對スル感謝決議並ニ慰勞金

決 議

社團法人同盟通信社前理事長田中都吉君ハ昭和十年十二月十七日本社理事トナリ創立當時代行政社長ノ職ニ當リ翌十一年十一月九日選バレテ初代ノ理事長ニ就任シ職ニ在ルコト五年有半日本新聞會長就任ノ爲メ本年二月十日辭任セラル

君ハ夙ニ新聞通信事業ノ國家的重大性ヲ認識シ其ノ卓越セル識見ト才能ヲ以テ本社ノ設立並ニソノ發達ニ貢獻セラルル所頗ル多シ殊ニ支那事變第二次歐洲戰亂大東亞戰爭等ノ重大事件續發ニ際シ克ク本社ノ國家的使命達成ニ協力セラレ以テ社運ノ基礎ヲ確立セ

社團法人 同盟通信社

ラレタリ茲ニ本理事會ハ君ノ盡力ト功績ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表スルモノナリ

昭和十七年六月二十七日

齋同盟通信社理事會

右決議ノ傳達並ニ慰勞金額ニ關シテハ總テ現業理事一任野中議長ヨリ以上特別委員評議決定事項ヲ報告、古野社長ヨリ決議文ヲ朗讀滿場一致之ヲ可決、閉會セリ

以上

議長

室中柳吉



理事

田中 齊



理事

島田元吉



社団法人 同盟通信社

昭和十六年度收支計算表

一般會計

收入之部		支出之部	
新聞通信收入	4,610,103.82	總體費	2,111,567.43
經濟通信收入	1,552,695.57	本社費	1,584,013.30
海外通信收入	5,184,773.21	國內支社局費	1,755,871.06
通信外諸收入	289,572.74	海外總支社局費	3,995,546.86
受入手數料	43,370.00	國內電信電話費	809,821.16
		海外電信電話費	1,202,538.80
		支拂手數料	119,450.08
		諸資產償却費	50,310.17
小計	11,680,515.34	小計	11,629,118.86
特別會計出版部剩餘金繰入	28,379.03	特別會計寫真部 缺損金補填費	60,986.01
		當期剩餘金	18,789.50
計	¥ 11,708,894.37	計	¥ 11,708,894.37

特別會計

收入之部		支出之部	
寫真部	597,448.98	寫真部	658,434.99
出版部	602,791.77	出版部	574,412.74
小計	1,200,240.75	小計	1,232,847.73
寫真部缺損金 (一般會計ヨリ補填)	60,986.01	出版部剩餘金 (一般會計へ繰入)	28,379.03
計	¥ 1,261,226.76	計	¥ 1,261,226.76

貸 借 對 照 表

昭和十七年三月卅一日現在

資 産 之 部		負 債 之 部	
現 金	84,281.93	預 け 保 證 金	7,201.29
銀 行 預 金	423,637.79	假 受 金	127,979.64
諸 預 け 金	1,397.07	未 拂 電 信 料	255,408.02
所 有 有 價 證 券	957,172.50	未 拂 諸 經 費	1,359,525.98
保 證 有 價 證 券	115,264.70	未 經 過 通 信 料	353,063.19
保 證 金	58,412.30	借 入 金	3,147,619.41
國 内 支 社 局 手 持 現 金	37,061.51	前 期 繰 越 剩 餘 金	36,706.97
海 外 總 支 社 局 手 持 現 金	448,783.63	當 期 剩 餘 金	18,789.50
諸 通 信 社 立 替 金	252,804.00		
未 收 社 員 分 擔 金	148,299.00		
未 收 諸 通 信 料	18,207.34		
諸 未 收 金	65,145.93		
假 拂 金	236,588.10		
諸 立 替 金	601,712.20		
什 器 及 備 品	308,801.00		
家 屋	148,011.00		
土 地	566,269.00		
事 業 權	834,445.00		
計	¥ 5,306,294.00	計	¥ 5,306,294.00

附 記. 「財産目録」ハ上記資産之部ト同一ニ付之ヲ省略ス

定款及細則改正要領

一、改正ノ趣旨

現行ノ定款及細則ハ昭和十一年同盟成立當時制定セラレ其間一小部分ノ改正ヲナシタルノミニテ時勢ノ變遷ニ依リ修正ノ要アル條項又ハ實情ニ適セサル條項生シタルヲ以テ之ヲ改正シ現實ニ適應スル規定トスル必要ヲ認メタルニ依ルモノナリ

一、定款中ノ主ナル改正事項左ノ如シ

- (イ) 社長及常務理事ハ理事會ノ承認アリタル場合ニ限リ政黨加入及事業干與ヲ爲シ得ルコトニ改メタルコト(改正定款案第三十一條)
- (ロ) 支社設置、職制ノ制定變更及改正、總會附議事項ハ理事會ノ決議ヲ經ス社長ニ於テ決定シ得ルコトニ改メタルコト(改正定款案第四條、第二十五條)
- (ハ) 出資理事社ノ社費月額ハ二千圓以上ナリシヲ四千圓以上ト改メタルコト(改正定款案第二十一條)
- (ニ) 理事會長、副會長其他理事及監事ノ任期カ其ノ改選スヘキ會議前ニ滿了スルトキハ最近ノ會議迄其ノ任期ヲ伸長スルコトニ改メタルコト(改正定款案第二十三條、第二十四條)
- (ホ) 理事會招集ハ年四回以上トアルヲ必要ノ都度開會スルコトニ改メタルコト(改正定款案第二十六條)
- (ヘ) 常務理事四名以内ナルヲ六名以内ニ改メタルコト(改正定款案第二十九條)
- (ト) 豫算提出期ヲ毎年三月末迄ト改メタルコト(改正定款案第三十四條)
- (チ) 以上ノ外字句ノ修正、不要條項ノ削除ヲナシタルコト
- 一、細則中ノ主ナル改正事項左ノ如シ
 - (イ) 入社金ノ分納制度ヲ廢止シタルコト(現行細則第八條、改正細則案第十一條)
 - (ロ) 緊急支出ヲ要スル場合常務監事ノ同意ヲ得テ社長ノ專決シ得ル限度三萬圓ヲ十萬圓ニ改メタルコト(改正細則案第三十條)
 - (ハ) 其他字句ノ修正、不適用條項ノ削除ヲナシタルコト

以上

社團 法人 同盟通信社定款及細則(案)

社團 法人 同盟通信社

社團 同盟通信社定款(案)

第一章 總則

第一條 本社ハ正確公平ナル報道ノ普及ト國際的諒解ノ増進ニ資スル爲メ内外ノ「ニュース」ヲ蒐集編纂シ電信、電話、無線電信、無線電話其ノ他ノ通信方法ニ依リ迅速適確ニ之ヲ社員並ニ海外ノ通信社及新聞社ニ通報スル事業ヲ經營スルヲ以テ目的トス

第二條 本社ハ左ノ附帶事業ヲ行ヒ又ハ之ニ出資ヲ爲スコトヲ得

一、新聞社ニ非サル社員外ノ者ニ本社ノ蒐集スル「ニュース」ヲ供給スルコト

二、廣告ノ取次

三、「ニュース」寫眞及其ノ製版ノ供給

四、本社ノ事業ニ關聯スル圖書雜誌ノ出版

五、其ノ他理事會ニ於テ本社ノ目的ヲ達成スル爲メ必要ト認メタル事業

第三條 本社ハ社團法人同盟通信社ト稱ス

第四條 本社ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 社員

第五條 本社ノ社員ハ我國ニ於テ日刊新聞ヲ發行スル新聞社(法人ノ支店又ハ發行所ニシテ日刊新聞ヲ發行スル者ヲ含ム)ノ一人ノ代表者、法人タル日刊新聞社、社團法人日本放送協會及無線電信又ハ無線電話ニ依ル放送事業ヲ經營スル者ニ限ル我國ニ於テ日刊新聞ヲ發行スル新聞社ノ代表者、法人タル日刊新聞社及無線電信又ハ無線電話ニ依ル放送事業ヲ經營スル者ハ本定款及細則ノ定ムル條件ニ據リ何時ニテモ社員タルコトヲ得ルモノトス

第六條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第七條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第八條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第九條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十一條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十二條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十三條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十四條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十五條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十六條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十七條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十八條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第十九條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十一條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十二條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十三條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十四條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十五條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十六條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十七條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十八條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第二十九條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十一條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十二條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十三條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十四條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第三十五條 社員タル社員ニシテ代表者數名アル場合ハ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ定メ本社ニ届出テ置クヘキモノトス代表者以外ノ者ヲシテ代理セシムル場合亦同シ

第四章 理事會

第二十一條

左ノ資格ヲ有スル者ヲ理事トシ其ノ總員ヲ以テ理事會ヲ組織ス
一、社團法人日本放送協會以外ノ社員ニシテ入社金壹萬圓以上ヲ拂込ミ且月額金四千圓以上ノ社費ヲ納付スル者

二、社團法人日本放送協會以外ノ社員ニシテ前號ニ該當セサル者ヨリ總會ニ於テ無記名連記投票ニ依リ選舉セラレタル十二名以内ノ社員但シ得票同數ナル場合ハ表決權ノ多キ者ヲ當選者トシ表決權同數ノ場合ハ抽籤ニ依ル

三、社團法人日本放送協會ヨリ推舉シタル同協會役員五名以内

四、前各號ニ依ル理事ノ過半數ノ同意ニ依リ推舉シタル學識經驗アル者七名以内
前項第一號又ハ第二號ニ該當スル社員カ法人ナルトキハ其ノ代表者又ハ第五條第三項ノ規定ニ依リ代表者又ハ代理者ヲ以テ理事トス

第二十二條 理事ハ名譽職トス但シ前條第一項第四號ニ依ル者ハ此限ニ在ラス

第二十三條 第二十一條第一項第二號及第四號ニ依ル理事ノ任期ハ三年トス但シ再選ヲ妨ケス

第二十一條第一項第二號及第四號ニ依ル理事ニ缺員ヲ生シタルトキハ之ヲ補缺ス但シ事業上支障ナキトキハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ延期スルコトヲ得
補缺者ノ任期ハ前任者ノ殘餘期間トス

第二十一條第一項第二號及第四號ニ依ル理事ノ任期カ之ヲ選舉スヘキ總會又ハ推舉スヘキ理事會前ニ滿了スルトキハ其ノ總會又ハ理事會ノ終結迄之ヲ伸長ス
理事第二十一條第一項第一號及第三號ニ定ムル資格ヲ缺クトキハ當然理事ヲ失格ス此場合同條第二項ノ規定ニ依リ理事タル者亦同シ

第二十四條 理事會ニ會長一名及副會長二名ヲ置ク
會長ハ理事會ヲ招集シ其ノ議長ト爲リ理事會ト社長トノ連絡ニ當ル會長事故アルトキハ副會長其ノ指示ニ從ヒ任務ヲ代理ス

會長及副會長ハ第二十一條第一項第一號乃至第三號ニ依ル理事ノ互選ヲ以テ之ヲ定メ其ノ任期ハ三年トス但シ再選ヲ妨ケス
會長、副會長ニ缺員ヲ生シタルトキハ之ヲ補缺ス補缺者ノ任期ハ前任者ノ殘餘期間トス

會長、副會長ノ任期カ之ヲ互選スヘキ理事會前ニ滿了スルトキハ其ノ理事會ノ終結迄之ヲ伸長ス
會長、副會長ニ於テ理事タル資格ヲ喪失シタルトキハ當然退任ス

第二十五條 理事會ハ定款及細則ニ於テ別ニ定ムルモノ外左ノ事項ヲ議定ス
一、細則ノ制定、變更及廢止
二、豫算及決算
三、社員ノ入社及退社
四、社債ノ募集
五、第二十一條第一項第二號及第四號ノ理事ノ數
六、社長、常務理事及其ノ以外ノ第二十一條第一項第四號ニ依ル理事並ニ常務監事ノ報酬及手當
七、前各號ノ外會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第二十六條 理事會ハ必要ノ都度之ヲ招集ス招集ノ場所及日時ハ會長之ヲ定ム
社長又ハ理事總員ノ五分ノ一以上ニ當ル理事ヨリ會議ノ目的事項ヲ明示シテ請求シタルトキハ會長ハ五日以内ニ理事會ヲ招集スルコトヲ要ス
第二十七條 理事會ニ於ケル理事ノ表決權ハ各一票トシ其ノ決議ハ總員ノ過半數出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ社長及常務理事ノ解任及細則ノ制定變更並ニ廢止ハ理事總員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ要ス
理事ハ他ノ理事ニ書面ヲ以テ委任シ其ノ表決權ヲ行使スルコトヲ得
第十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五章 監事
第二十八條 本社ニ監事二名ヲ置キ内一名ハ常務ニ當ルモノトス
監事ハ總會ニ於テ選舉シタル者及社團法人日本放送協會ヨリ推薦シタル同協會役員各一名トス
第二十一條第一項第二號但書ノ規定ハ前項ノ選舉ニ之ヲ準用ス
監事ノ任期ハ三年トス但シ再選ヲ妨ケス
第二十三條第二項乃至第五項ノ規定ハ監事ニ之ヲ準用ス
常務ニ當ラサル監事ハ名譽職トス

第六章 社長及常務理事
第二十九條 第二十一條第一項第一號乃至第三號ニ依ル理事ノ過半數ノ同意ヲ以テ同項第四號ニ依ル理事ノ中ヨリ社長一名及常務理事六名以内ヲ定ム
第三十條 社長ハ本社ノ事業ヲ總理シ本社ヲ代表ス尙總會ヲ招集シ其ノ議長ト爲ル常務理事ハ社長ノ定ムル所ニ依リ業務ヲ分擔シ社長事故アルトキハ其ノ指示ニ從ヒ任務ヲ代理ス
第三十一條 社長及常務理事ハ左ノ行爲ヲナスコトヲ得但シ理事會ノ同意ヲ得タルトキハ此限ニ在ラス
一、我國ニ於テ發行サルル日刊新聞社ノ事業及無線電信又ハ無線電話ニ依ル放送事業ニ干與シ又ハ其ノ株主若クハ出資者タルコト
二、政治及社會運動ノ實際ニ携ハリ又ハ政黨若クハ社會的結社ニ入黨加入スルコト
三、他ノ業務ニ從事シ又ハ他ヨリ報酬ヲ受クルコト
社長又ハ常務理事カ前各號ノ一ニ違反シタルトキハ理事會ハ其ノ任務ヲ解クコトヲ得

第七章 資産及會計
第三十二條 本社ノ資産ハ寄附財産、社員ノ入社金及社費、事業收入、雜收入其ノ他ノ財産ヨリ成ルモノトス
第三十三條 本社ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月末日ニ終ルモノトス
第三十四條 社長ハ毎年三月末迄ニ翌年度豫算ヲ、每會計年度終了後三月内ニ決算ヲ作成シ之ヲ理事會ニ提出スルコトヲ要ス
豫算外ノ支出ハ理事會ノ承認又ハ追認ヲ要スルモノトス
第三十五條 決算ノ結果剩餘金ヲ生シタルトキハ翌年度ノ收入ニ繰越シ不足ヲ生シタルトキハ理事會ニ於テ其ノ補填方法ヲ決定ス
第三十六條 社債ノ募集ハ總會ノ決議ヲ要ス
第三十七條 本社解散シ殘餘財産アルトキハ理事會ノ決議ニ依リ其ノ歸屬者ヲ定ム

第八章 解散
第三十八條 本社ハ總社員ノ表決權ノ四分ノ三以上ノ同意アルニ非サレハ解散ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス
第三十九條 本社解散シタルトキハ社長又ハ社長ノ指定シタル者清算人ト爲ル

社團 同盟通信社細則(案)

第一章 入 社

第一條 定款第六條第一項ニ依リ提出スヘキ入社申込書及社費月額承諾書ハ附録書式第一號及第二號ニ依ル

第五條ニ依ル申込變更同意書及社費月額變更同意書ノ書式ハ前項ノ書式ニ準スルモノトス

第二條 前條ノ入社申込書及社費月額承諾書ニ署名スヘキ者ハ申込者カ法人ナルトキハ其ノ代表者、法人ナラサルトキハ申込ヲ爲ス新聞社又ハ無線電信若クハ無線電話ニ依ル放送事業ヲ經營スルモノノ代表權ヲ有スル者トス

第三條 定款第六條第四項ノ通知ハ附録書式第三號ニ依ル

第四條 入社申込者ノ希望アルトキハ定款第六條第三項及同條第四項ノ規定ニ拘ハラヌ社長ニ於テ假ニ當該申込者ノ負擔スヘキ入金額及社費月額ヲ定メ入社ノ假承諾ヲ爲シ直ニ「ニュース」ノ供給ヲ開始スルコトヲ得

前項ノ假承諾通知ノ書式ハ前條ノ書式ニ準ス

入社ノ假承諾ハ次回ノ理事會ニ附議シ之カ追認ヲ經ルコトヲ要ス

第五條 定款第六條第一項ニ依ル入金口數若クハ社費月額又ハ前條ノ假承諾ヲ爲スニ當リ假ニ定メタル入金口數若クハ社費月額カ理事會ノ決議ニ依リ變更セラレタル場合ニ於テハ社長ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ入社申込者ニ通告シ其ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス

第六條 入社ノ假承諾カ理事會ノ追認ヲ得サルトキ又ハ入社申込者カ前條ニ依ル入金及社費月額ノ變更ニ同意ヲ與ヘサルトキハ入社ノ申込ハ其ノ效力ヲ失フ此場合ニ於テ入社申込者ハ既ニ納付シタル社費月額ノ返還ヲ請求シ又ハ申込ノ效力ヲ失ヒタルニ因リ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス

第二章 代表者及代理人

第七條 法人タル社員ニシテ代表者數名アルモノカ定款第五條第三項ニ依リ社員タル權利義務ヲ行フヘキ者ヲ特ニ届出テサル場合ハ第二條ノ入社申込書ニ署名シタル者ヲ以テ當該社員ノ權利義務ヲ行フ者ト看做ス

定款第五條第三項ニ依リ代理人トシテ法人タル社員ノ權利義務ヲ行ヒ得ル者ハ編輯主務者、營業主務者又ハ之ニ準スル高級職員ニシテ理事會カ當該社員ヲ代表スル資格アリト認メタル者ニ限ル

第三章 社 費

第八條 各社員ノ負擔スヘキ社費月額ハ定款第六條第三項ニ掲クル事項ニ基クノ外本社ヨリ供給スル「ニュース」ノ分量、其ノ供給ノ爲メ特ニ要スル費用其ノ他ノ事情ヲ斟酌シ全社員ニ於テ公平ニ分擔スルノ主旨ニ則リ之ヲ決定スヘキモノトス

第九條 戰爭、重大事變、重要ナル國際會議、國際競技等ノ臨時事件ニ關スル特別「ニュース」ニシテ既定豫算外ニ特別ノ經費ヲ要スルモノハ其ノ特別經費ヲ分擔スル社員ニ限リ之カ供給ヲ受ケ得ルモノトス

第十條 社員ハ毎月二十日迄ニ當月分ノ社費月額ヲ本社ニ納付スヘキモノトス

第十一條 本社ハ社員ニ對シ毎月納付スヘキ社費月額ノ全部若クハ一部ノ債務ニ付本社ノ指定スル廣告取扱業者又ハ其ノ他ノ者ノ連帶保證ヲ求ムルコトヲ得

第四章 「ニュース」ノ供給條件

第十二條 本社ノ「ニュース」ハ本社ノ東京本社又ハ國內ニ於ケル支社若クハ支局ノ所在地ニ於テ各社員ニ配付スルモノトス

本社ノ東京本社又ハ國內ノ支社若クハ支局ヨリ社員ノ所在地迄ノ「ニュース」ノ送信費用ハ當該社員ノ負擔トス

第十三條 社員ハ本社ヨリ供給ヲ受ケタル「ニュース」ヲ自己ノ發行スル新聞紙ニ掲載シ又ハ自己ノ經營スル無線電信若クハ無線電話ニ依リ放送スルコトヲ得ルノ外之ヲ他ノ目的ニ使用スルコトヲ得サルモノトス

同一ノ社員カ二種以上ノ日刊新聞ヲ發行スル場合ニ於テモ本社ノ供給スル「ニュース」ハ之ヲ社員ニ非サル他ノ新聞發行所ヲシテ共用セシムルコトヲ得サルモノトス

第十四條 社員カ本社ヨリ供給ヲ受ケタル外國「ニュース」ヲ新聞紙ニ掲載シ又ハ無線電信若クハ無線電話ニ依リ放送スル場合ハ各「ニュース」毎ニ「同盟」ナル「クレディット」ヲ附スヘキモノトス

第五章 社員ノ協力

第十五條 本社通信網ノ十分ナラサル地方ニ於ケル社員ハ本社ノ依頼ニ依リ其ノ所在地方ノ「ニュース」ヲ本社ノ費用ニテ本社ニ供給スヘキ義務アルモノトス

本社ハ前項ノ「ニュース」ヲ内外ニ公表通報スルコトヲ得但シ當該社員カ特ニ指定シタル地域内ニ於テハ之ヲ公表スルコトヲ得ス

第十六條 社員ハ其ノ所在地方ニ於テ「ニュース」ノ蒐集通報ニ從事スル本社ノ從業員ニ對シ能フ限リノ援助便宜ヲ與フヘキモノトス

第六章 社員總會

第十七條 社員總會ノ招集ハ之ニ附議スヘキ事項ヲ示シ少クトモ期日十日以前ニ各社員ニ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第十八條 定款第十七條第一項ニ依ル社費ノ現實拂込月額ハ各總會ノ開カル月ノ前月以前六ヶ月分ノ社費月額トシテ現實ニ納付シタル社費總額ノ六分ノ一ニ當ル金額トス

社長ハ社員總會毎ニ其ノ總會ニ於テ各社員ノ有スル表決權ノ票數ヲ算定シ之ヲ記載シタル書類ヲ會場ニ備ヘ置クヘキモノトス

第七章 理事會、理事及監事

第十九條 理事會ノ招集ハ之ニ附議スヘキ事項ヲ明示シテ各理事及監事ニ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス但シ出席者五名以上ノ同意アルトキハ豫メ通知セサル事項ヲ附議スルコトヲ妨ケス

第二十條 理事會ハ決議ヲ以テ定款第二十五條各號ニ掲ケタル事項ノ外之ニ準スヘキ重要事項ノ決定ヲ其ノ權限ニ留保スルコトヲ得

第二十一條 理事會ノ出席者カ定足數ヲ缺キタル場合ニ於テ會長ハ緊急ノ事項ニ限リ出席理事ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ以テ假決議ヲ爲シ社長之ヲ執行スルコトヲ得此假決議ハ次回ノ理事會ニ附議シ之カ追認ヲ求ムルコトヲ要ス

理事會ノ追認ヲ得ルコト能ハサル假決議ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ但シ社長ハ其ノ假決議ニ基キ既ニ執行シタル業務ノ殘務ニ限リ之ヲ遂行シ得ルモノトス

第二十二條 簡易ナル事項ニシテ之カ爲メ特ニ會議ヲ開クノ必要ナシト認メラルモノノニ付テハ會長ハ通信ニ依リ各理事ノ賛否ヲ徵シ之ヲ以テ理事會ノ決議ニ代フルコトヲ得

第二十三條 定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事ハ社長、常務理事ノ解任及定款第二十五條第六號ニ掲ケタル事項ヲ議定スヘキ理事會ニ出席スルコトヲ得但シ會長ヨリ特ニ出席ヲ要求セラレタル場合ハ此限ニ在ラス

前項ニ依リ特ニ出席ヲ要求セラレタル定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事ハ前項ニ掲ケタル事項ニ付當該理事會ノ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十四條 會長ハ理事會ノ議事録ヲ作成シ定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事以外ノ出席理事中少クトモ二名以上ノ署名ヲ徴シ之ヲ本社ニ備ヘ置クヘキモノトス
會長ハ前項ノ理事會ノ議事録ノ寫又ハ其ノ概要書ヲ各理事及監事ニ送付スヘキモノトス

第二十五條 監事ハ理事會ニ出席シ意見ヲ述フルコトヲ得但シ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十六條 常務ニ當ル監事ハ自己ノ解任及自己ノ報酬手當ヲ議定スヘキ理事會ニ出席スルコトヲ得サルモノトス

第二十七條 名譽職タル理事及監事カ理事會又ハ社員總會ニ出席スル爲メ其ノ開催地ニ旅行スル場合ニハ本社ハ其ノ旅費ヲ支辨スヘキモノトス

第八章 社長ノ權限及職務

第二十八條 社長ハ從業員ヲ任免シ其ノ俸給及手當ヲ定ム

第二十九條 第九條ニ掲ケタル既定豫算外ノ特別ノ經費ヲ要スル臨時事件ニ付テハ社長ハ追加豫算ヲ作成シ各社員ノ經費分擔方法ヲ定メ之ヲ理事會ニ提出スルコトヲ要ス

第三十條 緊急ヲ要スル支出ニ付前條ニ依リ追加豫算ヲ理事會ニ附議スルノ暇ナキトキハ金十萬圓ヲ超エサル支出ニシテ增收又ハ他ノ費目ノ流用其ノ他ニ依リ當該會計年度内ニ之ヲ補填シ得ヘキ見込アルモノニ限り社長ハ常務ニ當ル監事ノ同意ヲ得テ之ヲ專決スルコトヲ得但シ社長ハ之ヲ次回ノ理事會ニ報告スルコトヲ要ス

前項專決支出額ノ補填ニ付社長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ理事會ノ同意ヲ得テ其ノ支出額ノ全部又ハ一部ヲ社員ヨリ追徴スルコトヲ妨ケサルモノトス

第三十一條 社員以外ノ者ニ對スル「ニュース」ノ供給條件ハ社長之ヲ定ム附帶事業ノ料金、販賣價格、手数料等ニ付亦同シ但シ理事會又ハ社員總會ノ決議ノ主旨ニ反スルコトヲ得ス

第三十二條 外國通信社トノ重要ナル契約締結其ノ他本社ノ經營方針ニ重大ナル影響ヲ及ホスヘキ業務事項ニ付テハ社長ハ事情ノ許ス限り豫メ理事會ニ協議スヘキモノトス

第九章 會計

第三十三條 本社會計ノ勘定科目ハ社長ニ於テ常務監事ト協議ノ上之ヲ定ム

附 錄

以上

「書式第一號」

入 社 申 込 書

(新聞社名)

(代表者名)

右者今般貴社定款及細則了承ノ上加盟社員トシテ入社致度貴社定款第六條第一項ニ依リ入社金及社費月額承諾書ヲ添ヘ此段申込候也

一、入社金

但シ

圓也

昭和 年 月 日

(新聞社所在地)

(新聞社名)

(代表者名)

(紹介者名)

圖 圖

社團法人同盟通信社御中

「書式第二號」

社 費 月 額 承 諾 書

今般貴社ニ入社申込候ニ付テハ左記ノ通り社費月額ヲ負擔致スヘク又貴社ノ通信受信方法ハ次ノ如ク希望致候

一、社費月額金

右拂込方法

一、通信受信方法

圓也

昭和 年 月 日

以上

(新聞社所在地)

(新聞社名)

(代表者名)

圖

社團法人同盟通信社御中

「書式第三號」

入 社 承 諾 書

昭和 年 月 日附ヲ以テ御申込込相成候本社ニ御入社ノ件承諾致候
右理事會ノ決議ニ依リ御通知申上候也

追テ貴社ノ入社金、社費月額及通信供給方法ハ左ノ如ク決定致候間御承知相成度候

一、入 社 金

一、社費月額金

一、通信供給方法

圓也

圓也

昭和 年 月 日

以上

(社長名)

殿